

第 33 回水郷水都全国会議 in 朝倉・久留米

大会テーマ

九州北部豪雨に学ぶ減災と復興

～自然、文化とともに暮らしを取り戻すには～



日 程 2018年4月21日(土) 10:50 災害現地見学※要申込

集合 JR久留米駅水天宮口(西口)

18:00 懇親会(ブリヂストンクラブ)※要申込

4月22日(日) 9:00 全体会(基調講演、報告会)※申込不要

会場 久留米大学御井(みい)キャンパス

主 催 第33回水郷水都全国会議 in 朝倉・久留米実行委員会

朝倉市まちづくり新チャレンジ大学、筑後川流域連携倶楽部、久留米大学経済社会研究所

九大災害支援団、城原川を考える会、古賀河川図書館、筑後川水問題研究会

後 援 福岡県

申込先・問い合わせ先

〒830-0032 福岡県久留米市東町1-20 大和ビル2F久留米第一法律事務所気付

電話番号 0942-38-8050、FAX番号 0942-38-0850

携帯番号 080-6437-7719(どい) メールアドレス doi.kunji@gmail.com

第 33 回水郷水都全国会議 in 朝倉・久留米開催要項

九州北部豪雨に学ぶ減災と復興～自然、文化とともに暮らしを取り戻すには

2017年7月5日、記録的な豪雨により朝倉市、東峰村、日田市の中山間地は樹齢50年もの木が根こそぎ流出、土砂・流木による橋、道路、鉄道、ため池の決壊、川筋が変貌する大規模地形改変に見舞われた。近年常態化したともいえる異常豪雨による大災害は、従来の想定された確率に基づくハード面の防災計画の限界を突きつけた。本会議は全国から被災地の朝倉市、東峰村を訪ね、壊滅的な被災を乗り越え、継承されてきた文化、景観とともに暮らしを取り戻すには何が必要なのか、中山間地の減災と復興を考える。

開催日 2018年4月21日(土)～22日(日)

会場 久留米大学御井^{みい}キャンパス御井本館6階(福岡県久留米市御井町1635)

日程 4月21日(土) 11:00 災害現地見学※要申込 参加費 2,500円

集合 JR久留米駅水天宮口(西口)

18:00 懇親会(ブリヂストンクラブ)※要申込 会費 4,500円

20:00 実行委員会会議、大会宣言作成

4月22日(日) 全体会 ※申込不要 参加費 1,000円

9:00 開会・実行委員長挨拶

9:10 基調講演 「九州北部豪雨を受けて」

講師 島谷幸宏(北部豪雨調査団長・九大災害支援団)

10:10 報告会 「自然、文化とともに暮らしを取り戻すには」

平田昌之(流域連携倶楽部)「被災現地報告」

伊藤陸人(松末地区コミュニティ協議会会長)

「復興への地域の取り組み」

寺村 淳(九大)「災害史をふまえた被災分析と対策」

日田市地域おこし協力隊・久留米大学学生ボランティア

「災害ボランティアの活動と問題点」

佐藤宣子(九大)「森林政策における流木災害・減災の視点から」

黒木貴一(福教大)「筑後川流域の豪雨災害と水の動き」

島谷幸宏 コメンテーター

12:30 大会宣言、閉会、次期開催地挨拶

